

N^{Next} 2005

ネクストステージ

Saitama Support Magazine

Stage

Vol. **5**



(財)さいたま市産業創造財団



財団 オススメ企業!!
有限会社 常磐スクリーンプロセス
内館社長

ベンチャー塾講演風景



インキュベータ「案産館」のある
MIO北浦和

c o n t e n t s

特集 さらにパワーアップ!! **さいたま市産業創造財団の
創業支援“新”メニュー紹介** ... 2

Support Topics

▶ インキュベータ「案産館」~利用者募集~ ... 4
▶ 創業アドバイザー派遣事業をご活用ください!!

財団 オススメ企業!! ... 6
▶ 有限会社 常磐スクリーンプロセス

コラム 度重なる廃棄物処理法改正と ... 7
排出事業者責任について

インフォメーション ... 8

特

集

さらにパワーアップ!!

さいたま市産業創造財団の創業支援

第1弾

「創業者を融資でバックアップ」
～市内創業者向けの融資の受付を開始～

4月より、市内で事業を始めようとしている方や事業を始めて間もない方に事業に必要な資金を低利かつ円滑に調達していただくため、市が金融機関に融資のあっせんを行う「創業支援資金融資制度」を創設いたしました。

■創業支援資金の融資条件

資金用途	運転資金	設備資金
融資限度額	1,000万円 (自己資金による制限があります)	
返済期間	7年以内 (内据置期間1年以内)	10年以内 (内据置期間1年以内)
利率	年1.1%	
担保	不要	
連帯保証人	個人の場合は不要 法人の場合は代表者	
その他	埼玉県信用保証協会の保証を付する (保証料 年0.8%以内)	

○融資のあっせんの申し込みにあたっては、用紙代、あっせん料、紹介料などはかかりません。

○お申込み対象の該当要件がありますので、詳しくは下記までお問い合わせください。

まずはご相談を

(財)さいたま市産業創造財団 金融課
048-851-6391

(財)さいたま市産業創造財団では市から委託を受け、市中小企業融資制度の相談・受付等の業務を行っています。

第2弾

来たれ!!21世紀のチャレンジャー
～さいたま市ニュービジネス大賞 プラン募集開始

さいたま市発の新事業を発掘し、その事業を支援していくため、「さいたま市ニュービジネス大賞(SNB大賞)」を創設いたします。



それに伴い、「他にはないユニークなビジネス」「さいたま市を元気にする事業」といったビジネスプランを募集いたします。

賞金総額 **100万円** です。

この機会に、みなさまのユニークなアイデアをビジネスプランに落とし込んで、大賞獲得にチャレンジしてみませんか。

最終選考(第三次選考)に残った5名(予定)の方は、9月27日開催のさいたま市ベンチャーフォーラム2005(ソニック 市民ホール)で発表を行っていただきます。また、入賞後には財団でも事業化を支援するために、支援プロジェクトを発足させ、経営面、マーケティング面、人材面など多角的なサポートを行っていく予定です。

大賞の応募・選考・支援の流れは下記の通りです



さいたま市ニュービジネス大賞のホームページによる詳細のご案内
URL <http://www.sozo-saitama.or.jp/snbtaisyou.html>

○ビジネスプランの応募方法

所定の応募申込書に必要な事項を記入の上担当宛に郵送または持参、あるいはデータをメールにて送信してください。応募申込用紙は上記のホームページからダウンロードできます。(財)さいたま市産業創造財団にも応募用紙が置いてあります。

お問合せ・申し込み

(財)さいたま市産業創造財団支援課SNB大賞係
担当 佐藤、大塚

住所: 〒338-0002

さいたま市中央区下落合5-4-3

さいたま市産業文化センター4F

TEL: 048-851-6652

E-mail: s-sato@sozo-saitama.or.jp

“新”メニュー紹介

第3弾

勝ち組創業者の登竜門 ～さいたま市ベンチャー塾 大盛況で開講中

さいたま市内で、新事業を具体的に検討、または、実施しようとする創業者の方や事業者の方に「さいたま市ベンチャー塾」をスタートいたしました。

すでに、Stage①「新事業での売れる新商品開発の考え方・進め方」(5/21、6/11実施)を終了し、現在、ちょうどStage②「新事業でのビジネスモデルと行動計画～実践型ワークショップ」(6/25、7/2)を開催中です。

Stage③は11/19、11/26に実施予定です。乞うご期待!!



参加者S氏からのコメントです

「起業家向けの講演はいくつか見てきましたが、財団さんの行う講演はそれに比べて非常に充実していると思います。起業家になろうという人の気持ちになり講演内容を決めていただけるので、参加しやすく内容もわかりやすいものでした。」

Stage ①

「新事業での売れる新商品開発の考え方・進め方」

講師 桂 勤氏(創造本舗桂 代表)



Stage①概要

「試作」と「改良」を重ねて商品化していく従来の新商品開発の方法はかえってリスクが高くなるとバツサリ否定。それよりむしろ、既存商品・関連商品の

「調査」や、新商品アイデアの「特許化」を最優先に行い、早期に提携交渉を進めることが新商品開発の近道であるといった実践的な内容を、具体的な事例を交えてご講演いただきました。



講演終了後の交流会風景

～事業を始める方のための実務講座のご案内～

- 日時 7月23日～8月6日、
8月20日～9月17日まで
の各土曜日(全8日)10時～16時
- 会場 MIO北浦和1階(浦和区元町)他
- 内容 創業時に必要な知識やノウハウを学ぶ
- 対象・定員・費用 市内で創業を考えている方
10人・1万円
- お問合せ・申し込み
7月8日(金)までに、電話で(財)さいたま市産業創造財団 支援課へ
(応募多数の場合は選考により決定します)。
※TEL851-6652 FAX851-6653 担当加藤

回	期 日	時 間	テーマ
1	7/23 (土)	10時～ 11時	オリエンテーション
2		11時～ 12時	起業の心得
3		13時～ 16時	創業期の資金繰り計画
		16時 15分～	交流会
4	7/30 (土)	10時～ 17時	事業計画作成講座①
5	8/6 (土)	10時～ 15時	事業計画作成講座②
6	8/20 (土)	10時～ 12時	会社設立の考え方・ 作り方
7		13時～ 16時	税と会計の基礎
8	8/27 (土)	10時～ 16時	販路開拓の進め方
9	9/3 (土)	10時～ 12時	公的支援制度について
10		13時～ 16時	創業期のIT活用術
11	9/10 (土)	10時～ 16時	経営に生かすホームページの作り方①
12	9/17 (土)	10時～ 15時	経営に生かすホームページの作り方②
13		15時～ 16時	先輩経営者からの アドバイス

Support Topics

創業のノウハウと快適なオフィスを提供!!

インキュベータ「案産館」

～利用者募集～

① 創業準備コース（共用オフィス）

このコースは、創業準備に必要な各種手続き、資金計画、事業計画、マーケティング等に、企業経験豊富なインキュベーション・マネージャー等によるサポートを行い、より確かに、より早く事業をスタートできるシステムです。

- ・対象 ①さいたま市内で創業を志す方。
②さいたま市内で創業後1年以内で、新分野進出・新事業開発等に取り組んでいる、または、取り組もうとしている方。
- ・募集人数 若干名
- ・利用期間 6カ月（1回更新可、最長12カ月）
- ・利用料 専用机 28,000円/月 } 共益費・
共有机 15,000円/月 } 光熱水費込み
- ・入会金 10,000円



案産館

② 新事業コース（専用オフィス）

このコースは、創業3年以内の方に、24時間利用可能なオフィスを提供いたします。インキュベーション・マネージャー等によるマーケティング等の支援を行い、事業展開のスピードアップを図ります。

- ・対象 創業予定のある方、及び創業後3年以内の方で、新規事業（新分野進出、新技術開発、新商品開発等）に取り組んでいる、または、取り組もうとしている方で支援を必要とし、さいたま市内に本社を置くことのできる方。
- ・募集人数 2社（名）
- ・利用期間 原則1年以内（年度ごとに更新、最長3年）
- ・利用料 ①10㎡ 50,000円/月 } 共益費込み
②19㎡ 84,000円/月 }
- ・入会金 10,000円
- ・保証金 利用料の2カ月分
- ・場所 ①②とも
MIO北浦和
（浦和区元町2丁目、
JR北浦和駅東口徒歩5分）
- ・審査 書類審査のうえ面接で決定
- ・100M光ブロードバンド、来客対応サービス有

創業アドバイザー派遣事業を ご活用ください!

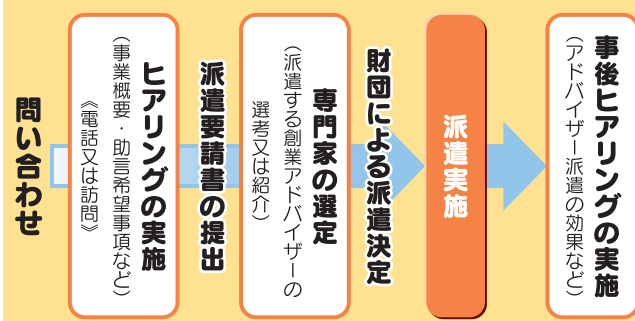
創業に関して様々な課題をお持ちの方

創業者が抱える様々な課題（経営、技術、人材、情報化等）に対して、専門的な知識、能力を有する「創業アドバイザー」を1創業者あたり2回（1回3時間程度）まで無料で派遣します。

●対象となる方

創業の目的が明確、かつ創業の意欲のある方で、さいたま市内でこれから新事業をお考えの方、または創業後1年未満の創業者が対象となります。

制度の流れ



□お問合せ・申し込み

（財）さいたま市産業創造財団支援課
TEL 048-851-6652 FAX 048-851-6653
E-mail shien@sozo-saitama.or.jp
URL <http://www.sozo-saitama.or.jp>

創業支援メニューご利用企業紹介

株式会社ICST様

株式会社ICST様は昨年度、当財団が実施したビジネスプラン研究会に参加いただき、今年度は新しい支援メニューであるインキュベータ「案産館」新事業コースと「創業アドバイザー派遣事業」をご活用いただいております。財団の支援メニューをフルに活用いただき、見事なスタートアップを実現。

ビジネスプラン研究会における事業計画のブラッシュアップが奏功し、見事、埼玉県創業・ベンチャー支援センターの

「いちおし「起」業プラン大賞」

を受賞されました。

今後ますますの活躍が期待できる、市内の超有望ベンチャー企業です。

株式会社 ICST
横井社長のコメント

(株)ICSTとは

Institute of Circulation
System Technology

の頭文字を取ったもので循環器系に関わる医療・健康機器で新しい経済循環を起せるようなインターナショナルな企業を目指して2004年6月に設立されました。資本がロシア、台湾、日本と3カ国からなり、ロシア及び東欧市場向けに医療・健康機器の輸出(三国間貿易)と、医療・健康機器の開発企画研究を日本国内でおこなっています。創立前より(財)さいたま市産業創造財団からいろいろな支援を受け設立1年が経過しようとしています。

ICSTの強みは①市場が明確(ロシア最大の薬局卸AGAB社と提携)②役割分担が明確(ロシア=市場、台湾・中国=生産、日本=品質管理、新製品企画開発)③将来のビジネス拡大が容易(トライアングルでできたルールに新企画製品を流せばビジネスが広がる)の3点です。

今後は弊社ブランド“*Nozomi*”を軸に新製品開発を行い「売手・買手を巻き込むビジネス運命共同体」というICSTらしさを実現するために事業拡大を目指します。

代表取締役
横井博之氏

製品写真

あなたの事業をしっかりサポートします!

～中小企業経営者の皆様に市融資制度のご案内～

市の融資制度は市内の中小企業経営者の皆様に、事業に必要な資金を低利かつ円滑に調達していただくため、市が金融機関に融資のあっせんを行う制度です。商品・材料の仕入、外注費・人件費の支払、機械・事業用車両の購入、店舗や工場の増改築などに必要な事業資金が対象となります。

●小口資金融資

- 1.融資限度額: 運転資金、設備資金あわせて1,250万円まで
- 2.利率: 年利1.5%(固定)
- 3.返済期間: 運転資金7年以内(内据置期間6月以内)
設備資金10年以内(内据置期間1年以内)
- 4.返済方法: 元金均等割賦償還
- 5.担保: 不要
- 6.連帯保証人: 1人以上(法人の場合には代表者の他に1人以上)
*ただし、一定の要件を満たす場合には連帯保証人は不要
- 7.保証: 埼玉県信用保証協会の保証を付する
- 8.保証料: 年1.04%以内

申し込みの締切日と融資審査会開催予定日一覧表

平成17年7月7日(木)～平成17年9月30日(金)

申込締切日	融資審査会予定日
平成 17年 7月 7日(木) ⇒	平成 17年 7月 26日(火)
平成 17年 7月 22日(金) ⇒	平成 17年 8月 8日(月)
平成 17年 8月 4日(木) ⇒	平成 17年 8月 23日(火)
平成 17年 8月 18日(木) ⇒	平成 17年 9月 2日(金)
平成 17年 9月 5日(月) ⇒	平成 17年 9月 21日(水)
平成 17年 9月 15日(木) ⇒	平成 17年 10月 5日(水)
平成 17年 9月 30日(金) ⇒	平成 17年 10月 25日(火)

*日程は都合により変更になる場合もありますので、事前にご確認ください。

お問合せ (財)さいたま市産業創造財団 金融課

TEL 048-851-6391 / FAX 048-851-6392

*当財団は市中小企業融資制度の相談・受付等の業務をさいたま市から委託を受けております。

*この他に中口資金融資もあります。詳しくは上記までお問い合わせください。

会社やお店の福利厚生は



におまかせください!

■入会できる方

市内の事業所(従業員300人以下の会社・工場・商店など)の事業主及びそこに勤務している方。 ※入会は事業所単位となります。

■入会金と会費

入会金 500円(1人)
会 費 500円(1人・月額)

■サービス内容

「入学・結婚・出産などのお祝い金や休業などのお見舞金の給付」
「人間ドック受診費用の助成」「宿泊・レジャー施設の割引利用や助成」
「映画や催物のチケットの割引あつ旋」「料理教室やバスツアー等の各種イベント」など盛りだくさんです。

■お問合せ (財)さいたま市産業創造財団

勤労者福祉サービスセンター(ワークジョイさいたま)

TEL. 048-840-1133 / FAX. 048-859-1711

ホームページ <http://www.saitama-wsc.com>E-mail: saitama@saitama-wsc.com



財団オススメ企業!!

有限会社 常磐スクリーンプロセス

所在地 さいたま市西区島根643
設立年月(開業) 1979年1月
事業内容 スクリーン・パット
印刷、点字・厚盛印刷
代表取締役 内館聰

(財)さいたま市産業創造財団の専門家派遣をご利用いただいた有限会社常磐スクリーンプロセス様を取材。昨年度は埼玉県「経営革新賞」も受賞されました。社員は社長を含めて3人の小企業ですが、高齢化社会を見据え、地球環境の汚染を憂い、綺麗なままの地球を次世代に残すことに、強い社長の意志を感じることができました。

根っからの技術屋社長

日立製作所でMRIの設計に携わったのが、社長の社会人としての第一歩である。それからほぼ45年後の現在に至るまで、社長の人生は一貫して技術者としての道歩んでいる。今後この道を踏み外すことはない…。



常磐スクリーンプロセス
内館社長

「私は作ることが専門です。売り方は分かりません。売り方を教えて」とおっしゃる社長はまさに愛すべき技術者。財団の支援を受けつつ、営業活動に奮闘中である。

社長は「技術開発で先駆者を追っかけるという考えはない。新しい物を作るのは一時の流行ではなく、社会が要求するから作る。」と言い切る。技術者としての気骨を見る思いがする。

湧き出るアイデアの元は「やりたいことはやった。次は…」

約10年間勤めた日立製作所を「やりたいことはやった。次は…」といって辞め、インキ製造会社に入る。そこでスクリーン印刷技術と出会い、化学を基礎から勉強し、現在の会社の基礎を習得する。

当時は、オフセット印刷、グラビア印刷が主流であり、印刷対象は紙が主体であった。それに比較してスクリーン印刷は、水と空気以外は対象を選ばないということで、勃興時期であった。この時期にスクリーン印刷技術を十分習得することができた。しかし、40歳を前に、インキ製造会社を「やりたいことはやった。次は…」と再び考えて辞め、スクリーン印刷会社を自ら立ち上げるようになった。

この「やりたいことはやった。次は…」が新しいアイディアの出発点になる。この繰り返しが今日の常磐スクリーンプロセスに繋がる。

ここで一つの転機に遭遇することになる。創業直前に病魔に見舞われ、当初計画していた広告宣伝分野への展開を諦め、事務機分野への変更を余儀なくされた。しかし、これが後の生分解プラスチック(グリーンプラの正式名―後述)や厚盛印刷技術に繋がっていく。



スクリーン印刷機械

バリアフリー時代の味方「滑らんちゃんシール」

企業は社会から利益を得た。その利益は当然社会に還元する義務がある。このような考え方から生まれた商品が、ス



滑らんちゃんシール

クリーン印刷技術を応用し、インキの厚盛印刷を実用化した家庭内での滑り事故防止用品「滑らんちゃんシール」である。

手摺りや階段などに貼り付けることによって、滑り止め効果を発揮する製品は、バリアフリーに不可欠である。さらに改良によって、夜間に発光する「夜光タイプ」や玄関用、トイレ用、屋外用と用途の拡がることが予想されている。

知られざる顔「グリーンプラ社長」

今回、内館社長の別の顔を見ることができた。社長の夢である「きれいな地球を次世代に残す」ことを願って「グリーンプラ推進」の実践活動をされている姿である。グリーンプラとは、石油製品のプラスチックに代わる、植物性のプラスチックである「生分解性プラスチック」の愛称である。

これは、バクテリアによって分解・消滅され、ダイオキシン等の環境汚染の心配がない。政府も各企業もその製品化に向けて動きだしており、一部実用化されているものもある。これからの対環境汚染のエースと期待されている。

内館社長は、8年前、グリーンプラ啓蒙活動のために、ボランティア組織を「埼玉グリーンプラ研究会」として立ち上げ、現在二代目会長として尽力されている。社長は夢である「きれいな地球」に向け一歩一歩進んでいる。

中小企業の経営革新の一つの典型 ～インタビューを終えて

今回の内館社長の取材を通して、中小企業の経営革新の一つの典型を見た感じがする。

技術蓄積とその応用による新商品開発、社会のニーズに対する素早い反応、経営者の柔軟な発想、特許習得など、中小企業経営革新のための必要条件の多くを満たしている。

最後に社長はこう結んだ。「今の我々の責務は、次世代が困らない環境を作ることだ。そのための企業活動をしていることが課せられている。」

(財)さいたま市産業創造財団 萩野・小平

さいたま市産業創造財団の専門家派遣で販売強化

昨年4月財団を立ち上げ間もない頃、窓口相談にみえて以来のおつきあい。販路拡大のための「専門家派遣」をご利用いただき、東京ビッグサイトの展示会に出展するなど積極的に販売活動を展開中です。

～度重なる廃棄物処理法改正と排出事業者責任について～ 行政による廃棄物と有価物判断基準の明確化を

産業廃棄物対策シンクタンク

株式会社 環境政策研究所

代表取締役CEO兼上席主任研究員

松岡 力雄(まつおか りきお)

① 迷走する産業廃棄物行政

平成17年5月18日、廃棄物処理法(平成17年改正)が公布された。同法改正は、近時、平成9年、12年、15年、16年、17年と立て続けに行われ、環境省も異例の事態と難色を示している。この危機的状況は、青森岩手県境田子町事件、岐阜県岐阜市事件といった県知事許可を受けている処理業者の大規模な不法投棄事件に起因し、行政は監視パトロールなど未然防止策と、その原状回復作業に大きな人的能力を裂かれ、数百億円規模の費用負担を違法行為を行った処理業者は勿論のこと、そこへ委託した排出事業者へ責任追求するため立証・立件に紛糾している。このような状況の中、原状回復には行政代執行等、産廃特措法による公的資金(税金)の導入も実行されており、産業廃棄物の処理責任を負うべき排出事業者の責任は、国民の社会費用負担に転嫁され、企業の社会的責任が厳しく問われる時代へと変化してきた。一方、不法投棄現場の環境被害を受けた地域住民の怒りは、処理業者を監視・指導する立場にある管轄行政に向けられ、こうした一連の事象は、現在の産業廃棄物法制の不備を顕著に表している。

② 産業廃棄物処理業者の育成と優良性判断情報の提供について

環境省は15、16年改正において、更なる悪質処理業者の徹底排除及び罰則を強化し、暗いイメージが先行される産廃業界の信頼回復に向け、優良な処理業者の育成を支援するため具体的な育成策に着手し、平成17年10月1日から、「産業廃棄物処理業者の評価制度」を各地方自治体に対し一律的に実行させようとしている。同制度は厳しい基準を処理業者に設け、更新時、処理業者の任意申込により地方自治体が審査する仕組みになっている。基準内容は①遵法性(過去5年間行政処分を受けていないか)②情報公開(会社情報、財務諸表、処理料金、処理工程、処理実績、地域融和等インターネットによる公表)③環境保全への取り組み(ISO14001、エコアクション21の認証取得)の3項目を設け、基準適合した旨を地方自治体が許可証に記載し、産廃情報ネットにより公表されることになる。

上記により排出事業者は、処理料金の比較と併せて、優良性判断評価による情報を参考に選定作業を行うことが予想される。注意すべきは、優良業者へ委託したからといって、排出事業者責任が免れるものではないことが付け加えられた点である。

③ 廃棄物処理法上の廃棄物・有価物判断の問題について

近年、大企業の社会的責任(CSR)を果たす姿勢や法令遵守の動きが、下請中小企業にも浸透されつつあり、環境保全やコンプライアンスの高まりは、同時に廃棄物処理法に対す

る疑義を増加させ、法の解釈論は管轄する行政判断の差異を生じ、その運用に現場実務は困惑している。

特に廃棄物と有価物の判断では、1円でも処理業者が買い取れば有価物か?運搬費と相殺しての利益が排出事業者側に残らなければ有価物と判断できないのか?等、排出段階において、有価物であることを客観的に判断することが難しく、廃棄物処理法のグレーゾーンと表現されている。有価物と解釈した場合、委託契約書やマニフェストの発行義務はなく、もし仮に安易な有価物解釈で不法投棄事件が起きてしまった場合、排出事業者に対し、委託基準違反は5年以下の懲役1000万円以下の罰金及び別表の過失により原状回復措置命令が発せられ、行政によっては企業名も公表される。また、両罰規定により環境担当者や環境担当役員にまで、その責が問われる可能性があり、非常に神経を使っているのが現状だ。行政も過去の経験から、グレーゾーンを悪質業者に悪用されているケースも多く、より廃棄物として判断する指導が強い。リサイクル推進と不適正処理防止を両立する力ギとなる問題だ。

今後、環境省は廃棄物と有価物の判断基準を明確化しなければならないであろう。広島高裁判決では、取締まる側の行政が、廃棄物であることを客観的に証明すべきとの判断を示した。廃棄物処理法は排出事業者責任を前提としていることから、排出段階において明確な基準を設ける必要がある。最終的に解釈を司法判断に委ねる現状を考えると、違法行為が生じてから、過失責任を問う現在の排出事業者責任には限界があるのかも知れない。廃棄物処理法の改正は、17年改正に留まらず、まだまだ続くことが予想されるのではないだろうか。

排出事業者が措置命令の対象となる場合		
	罰 則	措置命令
・ ①委託基準違反	○	○
・ ②マニフェスト不交付	○	○
・ ③マニフェスト虚偽記載	○	○
・ ④マニフェスト確認義務違反	×	○
・ ⑤マニフェスト保管義務違反	○	○
・ ⑥不法投棄を知りつつ委託	○	○
・ ⑦著しく安い料金で委託	○	○
・ ⑧その他責めに帰する事由有り	○	○



松岡 力雄 氏

・農林水産省食品リサイクル法普及事業部会委員
・独立行政法人中小企業基盤整備機構廃棄物処理法専門講師
・廃棄物学会会員
等各方面で活動中

専門家による個別相談会

7/14(木) 社会保険労務士による人事労務相談
7/22(金) 企業OBによる営業相談
7/26(火) 税理士による税務相談
8/26(金) 弁理士による特許相談
7/5(火)、8/9(火)、9/6(火)

・埼玉県信用保証協会による金融相談

●**時間:**いずれも10:00~17:00

●**会場:**(財)さいたま市産業創造財団 相談室

※金融相談以外は相談実施4日前(土・日、祝日を除く)までにお申し込みください。

申し込みがない場合は中止となります。

●**対象:**市内中小企業の方及び市内で創業予定の方
お問合せ・申し込みは

(財)さいたま市産業創造財団 支援課 小平

TEL:048-851-6652 FAX:048-851-6653

E-mail:s-koda@sozo-saitama.or.jp

また、ホームページ(<http://sozo-saitama.or.jp>)

からも申し込みができます。

講演会&ビジネス交流会

●**日時:**7月20日(水) 15:00~18:00

●**会場:**大宮ソニックシティ

講演会 601会議室

ビジネス交流会 905研修室

●**講演:**「地域に密着した企業経営

～地域の発展に企業が果たす役割～」

犬飼 基昭 氏

浦和レッズ代表

●**定員:**中小企業の方及び創業予定の方(申込み多数の場合はさいたま市内の方を優先します)

50名(先着順)

●**参加費:**無料(ビジネス交流会に出席の場合は1,000円)

お問合せ・申し込みは

(財)さいたま市産業創造財団 支援課 小平・小池

TEL:048-851-6652 FAX:048-851-6653

E-mail:s-koda@sozo-saitama.or.jp

また、ホームページ(<http://sozo-saitama.or.jp>)

からも申し込みができます。

営業のためのIT研修

～「営業実務から戦略立案までのIT活用術を指南する」

●**日時:**8月19日(金) 14:00~17:00

●**会場:**さいたま市産業文化センター3F(303)

●**講師:**青木 和博氏

(株)日本能率協会コンサルティング

シニア・コンサルタント

●**定員:**市内中小企業の営業責任者及び

営業担当の方 20名(先着順)

●**参加費:**2,000円

お問合せ・申し込みは

(財)さいたま市産業創造財団 支援課 小池

TEL:048-851-6652 FAX:048-851-6653

E-mail:y-koi@sozo-saitama.or.jp

また、ホームページ(<http://sozo-saitama.or.jp>)

からも申し込みができます

ホームページセミナー

●**日時:**9月7日(水)、21日(水)、10月5日(水)

いずれも18:00~20:00

●**会場:**アストン セミナールーム

(南浦和駅西口 徒歩5分)

●**講師:**関根 千佳氏 アストンカレッジ講師他

●**定員:**市内中小企業の方 20名(先着順)

●**参加費:**2,000円(1回) 原則3回参加

お問合せ・申し込みは

(財)さいたま市産業創造財団 支援課 小池

TEL:048-851-6652 FAX:048-851-6653

E-mail:y-koi@sozo-saitama.or.jp

また、ホームページ(<http://sozo-saitama.or.jp>)

からも申し込みができます

Next Stage 第5号



2005年(平成17年)7月1日発行
編集・発行 ●財団法人さいたま市産業創造財団
URL ●<http://www.sozo-saitama.or.jp>
さいたま市産業文化センター4階
(〒338-0002 さいたま市中央区下落合5-4-3)

●支援課 ①中小企業支援担当 TEL 048-851-6652

②創業者支援担当 TEL 048-851-6697

③総務担当 TEL 048-851-6696

FAX 048-851-6653(①、②、③共通)

E-mail shien@sozo-saitama.or.jp

●金融課 TEL 048-851-6391 FAX 048-851-6392

E-mail kinyu@sozo-saitama.or.jp

●勤労者福祉サービスセンター

TEL 048-840-1133 FAX 048-859-1711

さいたま市優良勤労者表彰候補者を募集します

さいたま市では、勤労に対する意欲の向上と、本市の中小企業などの更なる充実と発展を図るため、次のとおり表彰候補者を募集します。

表彰期日 11月8日(火)

推薦者 正規従業員が300人以下の市内事業所の事業主

推薦基準 勤続年数が20年目もしくは30年目に該当する、勤務成績が優秀な方

推薦方法 さいたま市役所労政経済課、各区役所総務課(大宮・浦和区については地域経済課)、産業創造財団勤労者福祉サービスセンター、さいたま商工会議所、岩槻商工会議所の窓口へ備え付けある推薦用紙に、必要事項を記入し、8月17日(水)までに、市役所本庁舎2階の労政経済課(TEL 829-1370、FAX 829-1987)へ。詳しくは、労政経済課へ。

R100
古紙配合率100%

PRINTED WITH
SOY INK™